

トラック輸送情報（平成23年8月分）

平成23年11月9日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報政策課 交通統計室

担当：中倉 内線28721

直通：03-5253-8347

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

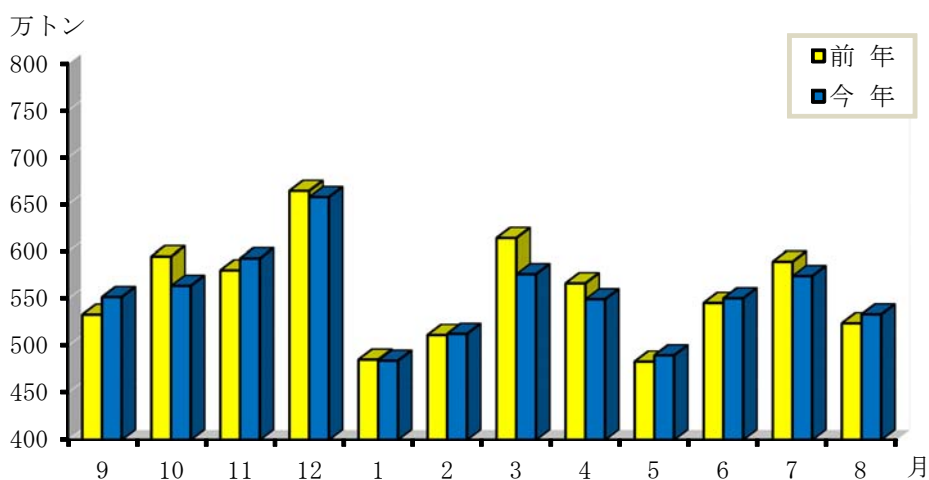
1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

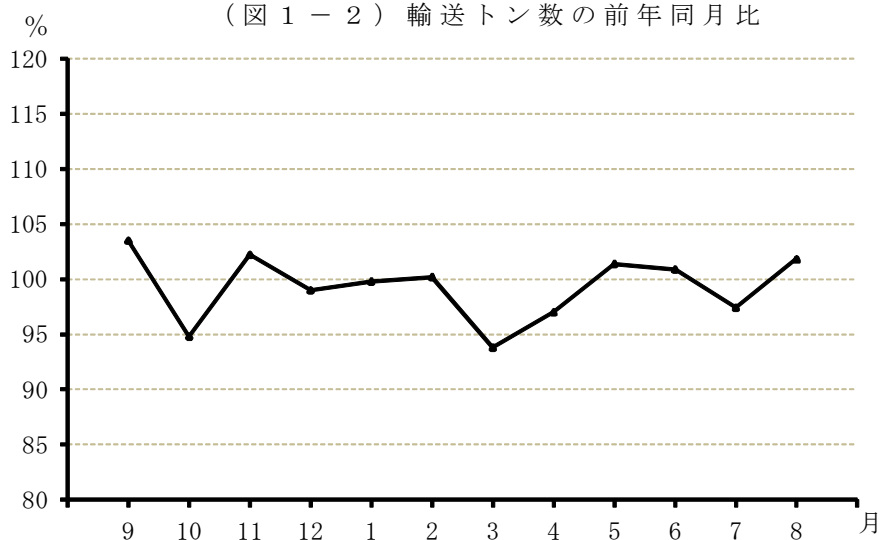
調査対象26社の本月の輸送量は、5,339,147トンで、前月と比べ総輸送量が約41万トン減少したため、前月比92.9%（季節調整済み103.1%）となり、前年同月との比較では、約10万トン増加したため、前年同月比101.8%の実績であった。（図1-1、図1-2参照）

なお、平均稼働日数は24.1日で、前月と比べ0.1日減少し、前年同月との比較では、0.6日増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、221,541トンで、前月と比べ約1万6千トン減少したため、前月比93.3%となり、前年同月との比較では、約2千トン減少したため、前年同月比99.3%の実績であった。

（図1-1）輸送トン数の推移



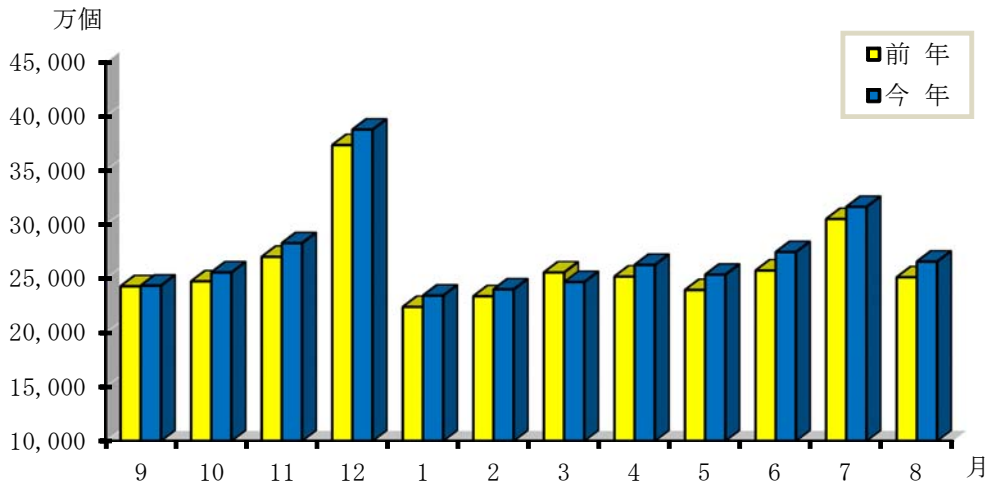
（図1-2）輸送トン数の前年同月比



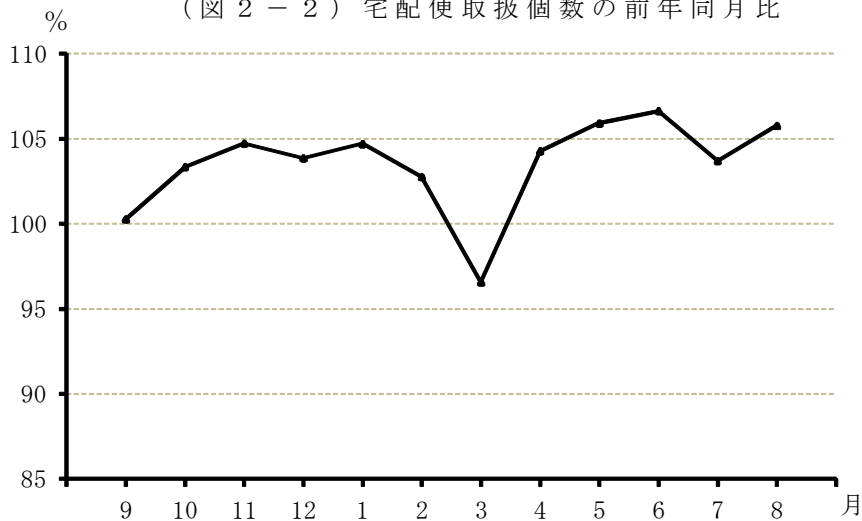
(2) 宅配便の概況

調査対象 17 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、265,862 千個で、前月と比べ 約 5,058 万個減少したため、前月比 84.0% (季節調整済み 101.6%) となり、前年同月との比較では、約 1,445 万個増加したため、前年同月比 105.7% の実績であった。(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社(26 社及び品目別・地域別輸送状況回答 1 社)の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、すべての品目で、輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。減少要因としては、工場・生産地からの貨物減がすべて品目に共通して見られたほか、倉庫から出る貨物減が「機械」、「食料工業品」、「日用品」で見られた。「機械」、「食料工業品」の主な減少地域は関東地方、中部地方、近畿地方等であった。

前年同月と比べると、工場・生産地や倉庫からの貨物増等が「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」で見られた一方で、商社・問屋からの貨物減が「日用品」で見られた。「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」の主な増加地域は、北陸信越、近畿等であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※増減要因		
	著増	増	変らず	減					
前 月 に 比 べ て	農水産品		1	11	4	2			
							野菜	中国	4
	金属製品		2	16	3				
	機械			10	10	1			
							電気機械、機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	化学工業品		1	12	9				
							合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、中国	4
繊維工業品		1	17	4					
食料工業品			15	5					
						製造食品	東京、関東、中部、大阪	4, 7	
日用品		2	11	9					
						書籍・印刷物、衣服、その他の日用品	東北、神奈川、関東、全国	4, 5, 7, 8	
その他	3	1	11	5	1				
						宅配便			
							神奈川、関東、大阪	4	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	3	13	1				
	金属製品	1	4	15		1			
								東京、関東、中部、中国	4
	機械		7	9	4	1			
							機械部品		4, 7
	化学工業品		8	12	1				
							化学薬品、合成樹脂	神奈川、北陸信越、中部地方、近畿地方	4, 7
繊維工業品		4	16	2					
						その他の繊維工業品	北陸信越、愛知、近畿、中国	4, 7	
食料工業品		6	11	3					
							東京、北陸信越、近畿	4, 7	
日用品	1	4	12	4	1				
						玩具	近畿、中国		
						衣服、その他の日用品	全国	5	
その他		7	10	1	3				

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※増減要因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者 804 社／調査対象事業者数 1,049 社）の輸送量は、前月比 99.8%、前年同月比 104.4%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	104.4 %	113.3 %	101.9 %	102.2 %	102.4 %	99.4 %	94.4 %	100.7 %	103.6 %	105.8 %	101.5 %	
前 月 比	99.8 %	103.2 %	99.6 %	96.7 %	101.1 %	96.3 %	93.1 %	97.3 %	100.2 %	102.3 %	98.5 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より、一部の事業者から回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比103.2%、対前年同月比113.3%であった。品目別では、季節的需要増等により「野菜・果物」が、建設関連の需要増により「機械」、「その他の窯業品」が、倉庫への入出庫の増加等により「化学肥料」が、工場・生産地での需要増等により「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」、「セメント」の輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。また、季節的需要減等により「その他の石油製品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比99.6%、対前年同月比101.9%であった。品目別では、季節的需要増等により「野菜・果物」が、被災地における建設関連の需要増等により「セメント」が、また被災地におけるガレキの搬出により「廃棄物」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減等により「食料工業品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降ともほぼ横ばい傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比96.7%、対前年同月比102.2%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」の輸送が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月が増加傾向、以降については減少傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比101.1%、対前年同月比102.4%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増により「木材」が、季節的需要増により「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、倉庫への入出庫の減少により「穀物」が、季節的需要減等により「日用品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月及び以降とも増加傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比96.3%、対前年同月比99.4%であった。品目別では、季節的需要減により「その他の農産品」が、工場・生産地からの貨物減により「紙・パルプ」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月は増加傾向、以降についてはほぼ横ばい傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比93.1%、対前年同月比94.4%であった。品目別では、季節的需要減により「その他の農産品」、「化学薬品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少したほか、「機械」、「日用品」等の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比97.3%、対前年同月比100.7%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増等により「その他の化学工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、天候の影響等により「穀物」、「その他の農産品」が、工場・生産地からの貨物減等により「鉄鋼」、「その他の製造工業品」が、景気の影響等により「機械」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月は増加傾向、以降についてはほぼ横ばい傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比100.2%、対前年同月比103.6%であった。品目別では、工場・生産地からの貨物増により「穀物」、「木材」、「その他の石油製品」、「化学肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「食料工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者が多かった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降ともほぼ横ばい傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比102.3%、対前年同月比105.8%であった。品目別では、季節的需要増等により「穀物」、「食料工業品」が、工場・生産地からの貨物増等により「畜産品」、「その他の化学工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減等により「砂利・砂・石材」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月および以降ともほぼ横ばい傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比98.5%、対前年同月比101.5%であった。品目別では、商社・問屋からの貨物増により「その他の化学工業品」、「金属くず」が、建設関連の需要増により「金属製品」が、工場・生産地からの貨物増により「鉄鋼」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、輸入貨物減により「木材」が、建設関連の需要減により「セメント」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送の見通しについては、次月は減少傾向、以降についてはほぼ横ばいが予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
1. 穀物	増	2	2	1					1	2		8
	減	3	2		1			3				9
2. 野菜・果物	増	7	5	2	1			1	1	5		22
	減	1	1					1	1	5		9
3. その他の農産品	増									1		1
	減					1	1	2				4
4. 畜産品	増									2		2
	減											
5. 水産品	増	2	1					1				4
	減	1										1
6. 木材	増		2		1				1	1		5
	減	1	1								1	3
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	2										2
	減	1										1
9. 金属鉱物	増					1				1		2
	減		1			1						2
10. 砂利・砂・石材	増	4	1					1				6
	減	7	1			1				3		12
11. 工業用非金属鉱物	増	2							1			3
	減	2	1					1				4
12. 鉄鋼	増	2			1			1	1	3	1	9
	減		1		1			3		3		8
13. 非鉄金属	増	1			1		1	1				4
	減						1	1				2
14. 金属製品	増	1	1		1			2		2	1	8
	減			1	1		1	2		1		6
15. 機械	増	2	1		2	3		1	1			10
	減		1		1	3	3	3				11
16. セメント	増	1	2		1	1		2		2		9
	減	3			1	1		1		3	1	10
17. その他の窯業品	増	2	1				1			1		5
	減					1	1			1		3

運輸局		北 海 道	東 北	関 東	北 陸 信 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
18.揮 発 油	増		1		1				1	1		4
	減									1		1
19.その他の石油製品	増				1				1			2
	減	2	1		1		1					5
20.コークス・ その他の石炭製品	増											
	減				1							1
21.化 学 薬 品	増	1			1							2
	減						1	1	1			3
22.化 学 肥 料	増	2			1				1	1		5
	減				1							1
23.その他の化学工業品	増		1					2		2	1	6
	減				1							1
24.紙 ・ パ ル プ	増	1	1		2			2	1	1	1	9
	減				1	1	1		1	1		5
25.織 維 工 業 品	増								1			1
	減											
26.食 料 工 業 品	増	4	3		2			2		6		17
	減	3	6		2			3	3	4	1	22
27.日 用 品	増	1		1						3	1	6
	減	2	1	1	2		2			1	1	10
28.その他の製造工業品	増		1					1		1		3
	減		3	1			1	3	1	2		11
29.金 属 く ず	増										1	1
	減											
30.その他のくずもの	増									2		2
	減									1		1
31.動植物性飼・肥料	増	5	1	1	1					1		9
	減	3								1		4
32.廃 棄 物	増	1	2		1			2				6
	減						1	1		1		3
33.輸 送 用 容 器	増											
	減		1		1					1		3
34.取 り 合 せ 品	増		1					1		1		3
	減	1	1									2
35.そ の 他	増	1	2		1		2	5	2	2		15
	減	1	3	3	1	2	5	1	1	1		18